

この最も小さい者

交わりの礼拝

2008/9/7

マタイ福音書25章39～46節

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。』」

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかったからだ。』すると、彼らも答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であつたり、病気であつたり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言うておく。この最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。』こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。」

終末に行われるさばき

- やがて「人の子」(イエス・キリスト)は王としてこの地に来られる
- その時、すべての人間がその前に集められる
- そこで、羊飼いが羊と山羊を分けるように、すべての人間を分ける
 - 永遠の命にあずかる「祝福された人たち」
 - 永遠の罰を受ける「呪われた者ども」

分ける基準は？

- 「わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれた」かどうか
- イエス様が苦しんでいたとき、困っていたとき親切にしたかどうか
- 実は、わたしたちのまわりにいる人たち
 - 「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

祝福された人たち

- イエス様とは知らずに、困っている人を助け、親切にしていた
 - いつイエス様を助けたり親切にしたのでしょうか？
- 親切にしているとか助けをしているという気持ちではなかった
- でも、苦しんでいる人困っている人たちに積極的に助けの手を差し伸べていた

呪われた者ども

- イエス様とは知らずに困っている人を助けず、苦しんでいる人に親切にできなかった
 - イエス様のような助ける価値のある人（報いがある）なら喜んで助ける
- 親切にしよう、助けようとは思っていたが実行に移さなかった

言い訳

- 自分のこと(仕事や家事, 家族の世話)で忙しく, 他の人のことまでかまっていられない
- 誰もわたしに助けてくれと言わない
- 時間とお金に余裕が出来たら...
- 自分がやらなくても誰かがやる
- 困っている人を助けるのは牧師の仕事だ
- こんどやろうと思っている

イエス・キリストという見本

- 「この最も小さい者の一人」であるわたしたちを助けるために、神の位を捨て、人となり、命まで捨てて下さった
- イエス様はいつも助けを求めている人を「探して」おられた
- イエス様はどんな人に対しても深い愛情を注ぎ、全力で助けられた
- あなたのまわりにイエス様がおられます！

王は答える。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』